

特殊詐欺発生状況 ▶ 令和5年1月～7月の状況

7月中	件数	金額	1～7月	件数	金額
R5年	17	約5,500万円	R5年	105	約2億6,710万円
R4年	7	約550万円	R4年	98	約1億8,570万円
増減	+10	約+4,960万円	増減	+7	約+8,130万円

※金額欄は端数を四捨五入しており、金額の増減と一致しない場合があります。

手口ピックアップ! 自動音声ガイダンスの架空料金請求詐欺

7月中はNTTファイナンスを名乗った**自動音声ガイダンス**から始まる**架空料金請求詐欺**を認知しました。

手口の一例

携帯電話や自宅の固定電話に着信があり、電話に出ると、NTTファイナンスを名乗る自動音声ガイダンスが流れ、「未納料金があります。」などと言われる。

ガイダンスを聞くと「詳しい説明は1番を押してください。」と言われ、携帯電話機の数字の1を押すように誘導される。

指示に従い、数字の1を押すと、同社職員を名乗る者に電話が繋がり、「サイトに登録されています。」「支払わなければ民事裁判になります。」などと言われる。

続いて「裁判を回避するためには電子マネー〇万円分を購入してください。」などと言われ、コンビニエンスストアなどで電子マネーカードを購入して、ID番号を教えるよう指示される。

被害

トピックス

7月中、中国銀行東岡山支店では、「介護保険料の還付金があります。」などと言われ、携帯電話で通話しながらATMを操作していた来店客に行員が声を掛け、還付金詐欺被害を未然に防止しました。

トマト銀行片上支店では、「高額当選したが口座に振り込まれていますか。」などと言って、来店した来店客に行員が話を聞き、手数料を振り込もうとしていたことを見抜いて架空料金請求詐欺被害を未然に防止しました。

また、ファミリーマート児島中山公園前店、ローソン美作作東店、セブンイレブン岡山芳明小前店等では、電子マネーカードを購入しようとした来店客に店員が声を掛けたことにより、架空料金請求詐欺被害を未然に防止することができました。このほかにも、コンビニエンスストア等で合計20件の特殊詐欺被害を未然に防止することができました。

ココに「技あり」!

来店客が携帯電話で通話していることを不審に感じて声を掛けたことや、詳しく話を聞いて、振り込みを要求されていることを見抜いた好事例です。